



皆様とともに 広報ありだは 700号

▼有田市施行の年（昭和31年）に生まれた上野山さんが、150号で20歳のインタビューに答えてくれました。

この時は若かったですね！
当時、農業が会社になるとい
う発想はなかったですが、農
家をやる中で「商売もやりた
い、農家の枠にとらわれたく
ない」という思いはずっとあ
りました。
60歳の時に会社（上友農園）
を立ち上げて、つい、もう一つ食
べたくなるみかんをキャッチ
フレーズにおかげさまで、少し
ずつ事業も拡大できています。
若い方には、「出る杭は打た
れるけれど、それならば打た
れないほど突き抜ければいい」
と伝えたいです。周りの目は
気にせず、やりたいことをやっ
てほしいですね。



平成17年7月 500号
この年に初島中学校新校舎が完成。初島中学校は3月末で閉校しますが、令和5年4月に専門学校を開校する準備を進めています。

平成9年3月 400号
有田東大橋やふるさとの川総合公園が完成間近であることが書かれています。

昭和63年11月 300号
この年に行われたソウルオリンピックでは、本市出身の吉田雅美氏が陸上競技 やり投げて活躍しました。

昭和55年7月 200号
昭和54年に春夏連覇を達成した箕島高校野球部に「有田市スポーツ賞」が贈られたことが書かれています。

昭和52年8月 165号
6月に市内でコレラが発生。これを契機とし、より一層健康で衛生的な、住みよいまちづくりをめざそうと、7月に「衛生都市宣言」が決議されました。

昭和51年1月 150号
市制施行20周年を迎える年の新年記念号です。紙面には、20歳を迎える方々のインタビューが掲載されています。

昭和45年12月 100号
中谷 良太郎第4代・5代市長が初登庁した際の記事が掲載されています。

昭和33年2月 1号
記念すべき広報ありだ第1号は市制施行の2年後、昭和33年2月1日でした。今年で広報発行64年を迎えます。



問 秘書広報課 TEL 22-37715

広 報ありだは、おかげさまで700号。これからも、分かりやすく、皆様に読んでいただける広報ありだを作っていきます。

昭 和52年の6月には市内でコレラが発生。当時の不安な様子が広報からも伝わってきます。現在を生きる私たちも、新型コロナウイルス感染症の不安と戦う毎日です。引き続き感染防止対策とお互いを思いやる行動で、豊かな生活を取り戻しましょう！

第 1号の広報ありだ（昭和33年発行）の紙面には、「財政再建団体の指定を受ける」という記事が掲載されています。それから64年間、皆様のご協力もあって財政難の時期を乗り越え、ここ数年は財務体質が改善され、様々な未来への投資が行えるようになりました。



令和4年3月 700号
データ版の広報ありだも配信中。ホームページやアプリ「マチイロ」、昨年からはLINEでもご覧いただけます！

平成30年1月 650号
堅実に努力を重ねてきたふるさと応援寄付が好調。今年度も多くの皆様からご寄付をいただいています。

平成25年11月 600号
この時の表紙の桃井さんが大きく成長して10歳に。この年から現在の広報と同じページ数になりました。

平成21年9月 550号
財政難の折、広報の予算も削減。限られた紙面の中で効果的に伝えるように。

↑今年度は、令和3年6月号が毎日新聞社主催の「近畿市町村広報紙コンクール」で奨励賞、8月号の表紙が「和歌山県広報紙コンクール」1枚写真の部 第3位を受賞しました！